



福島労働局発表

平成27年 5月 1日
平成27年 5月 1日
解禁

担 当	福島労働局 労働基準部
	健康安全課長 伊藤 克義
	産業安全専門官 近藤 正道
	電話024-536-4603 (直通)

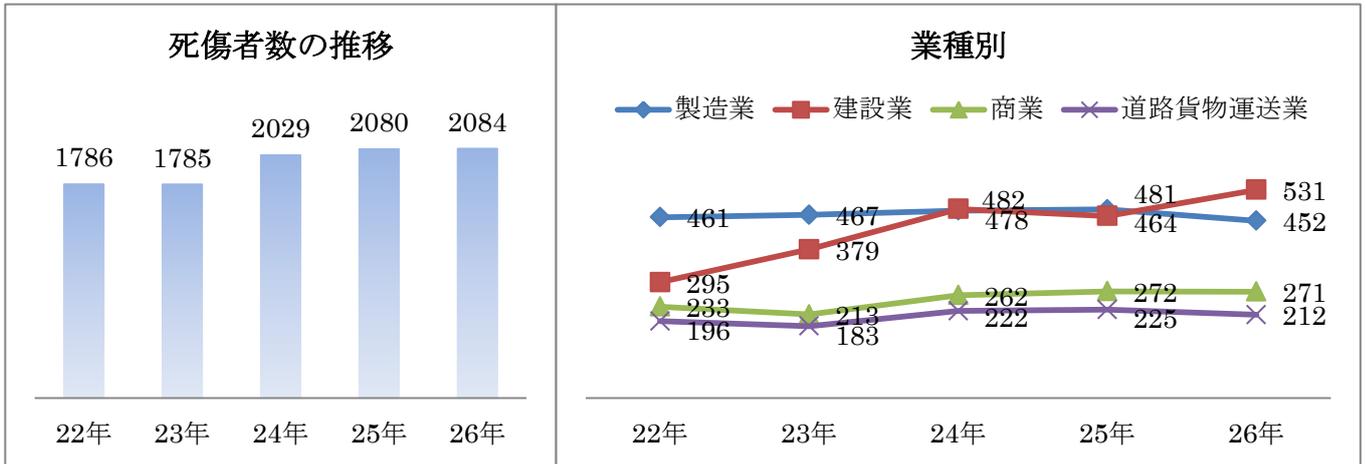
平成26年の労働災害による休業4日以上の 死傷者数は、2,084人

～昭和53年以来36年ぶりに3年連続の増加～

— 平成26年における労働災害の発生状況（確定） —

福島労働局（局長 引地陸夫）では、管内における平成26年（1月～12月）の労働災害発生状況をとりまとめました（別添「平成26年における労働災害の発生状況の概要」参照）。その要点は以下のとおりです。

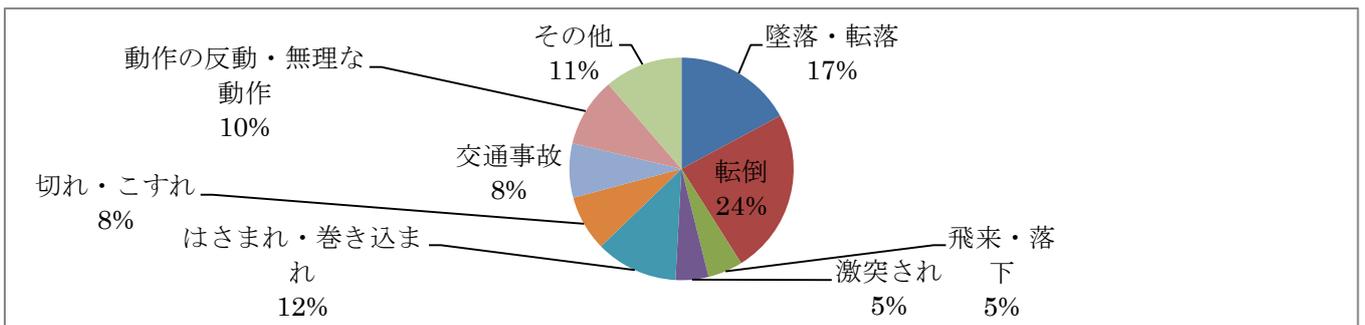
1-1 休業4日以上の死傷災害の発生状況



全産業では平成25年と比較すると4人増（+0.2%）と微増、震災前の平成22年との比較では298人増（+16.7%）と増加しており、依然として高水準にある業種別では建設業が531人と最多。平成25年と比較すると67人増（+14.4%）と増加し、平成22年との比較では236人増（+80%）と増加している。

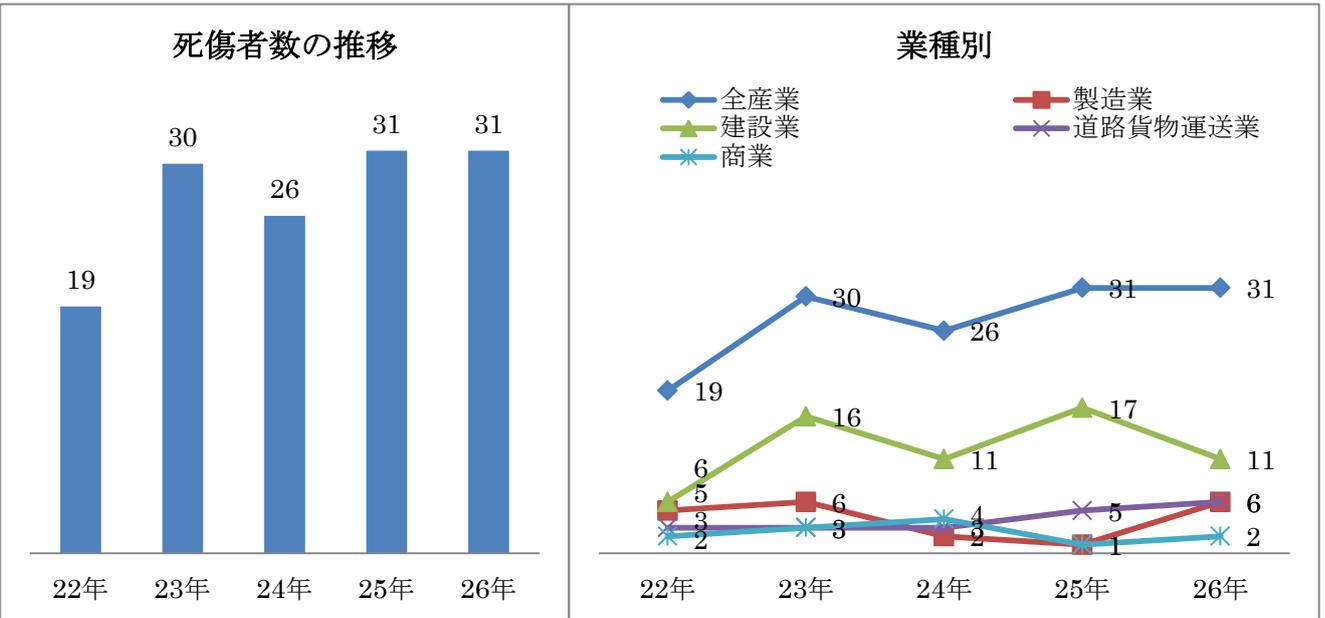
復旧・復興工事での死傷者は110人で、建設業での災害の20.7%を占めている。（復旧・復興工事のうち、除染作業中の死傷者は80人、72.7%）

1-2 事故の型別死傷災害発生状況



全業種の発生状況を事故の型別で見ると、「転倒」が500人（24.0%）と最多。

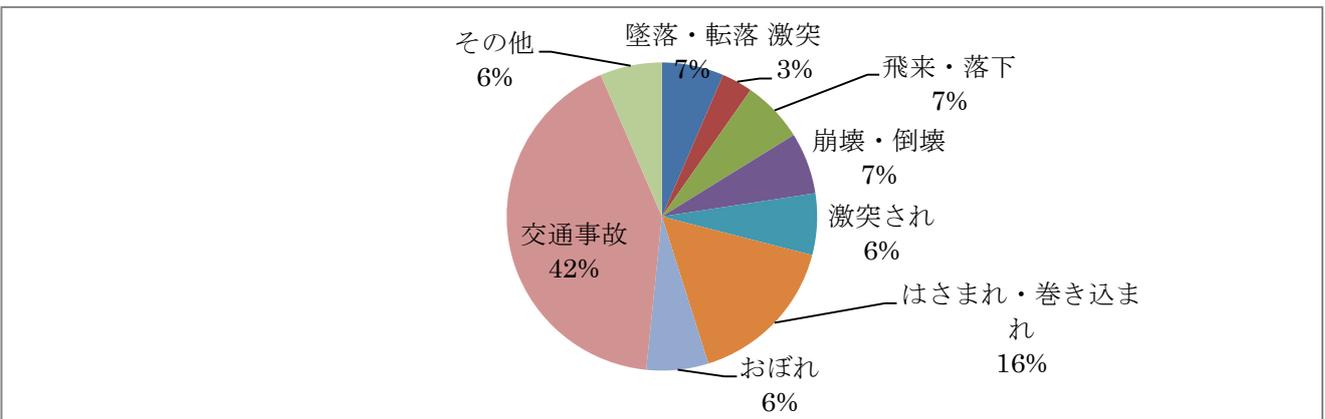
2-1 死亡災害の発生状況



全産業では平成25年と同数。震災前の平成22年との比較では12人増（+63.2%）と増加しており、依然として高水準にある。

業種別では建設業が最多。平成25年と比較すると6人減（-35.3%）と減少しているが、平成22年との比較では5人増（+83.3%）と増加している。

2-2 事故の型別死亡災害発生状況



全業種の発生状況を事故の型別で見ると、「交通事故（道路）」が13人と最多。

※ 平成26年は、7月末まで対前年比で死亡者数が2倍を超える勢いで増加したことから、8月22日に福島労働局初となる「死亡労働災害多発非常事態宣言」を発令し、災害防止団体への緊急要請、安全パトロールの実施、「福島から労働災害の撲滅！！」の懸垂幕の掲示による安全意識の高揚等の取組みを実施した。その結果、発令後の8月22日以降の発生は3人（前年8月22日～12月31日までは19人）となり、死亡災害の増加に一定の歯止めをかけることができた。

<今後の取組>

福島労働局では引き続き、次の取組を推進します。

(1) 復旧・復興工事の安全衛生対策

東電福島第一原子力発電所の廃炉作業に従事する労働者の放射線障害及び労働災害を防止するため、東京電力、元方事業者及び関係請負人に対し監督指導等を実施する。

除染等業務等に従事する労働者の放射線障害及び労働災害を防止するため、元方事業者及び関係請負人に対する監督指導等や、発注機関との連携による集団指導を実施する。

(2) 転倒災害の防止

休業4日以上之死傷災害で最も件数が多い「転倒災害」を減少させるため「STOP！転倒災害プロジェクト2015」の取組を推進する。(詳細は別添資料参照)

(3) 交通労働災害防止

死亡災害で最も件数が多い「交通事故」を撲滅するため「交通労働災害防止のためのガイドライン」に基づく対策を推進する。

平成26年における労働災害の発生状況の概要

1 休業4日以上之死傷災害発生状況

(1) 労働災害による休業4日以上之死傷災害の推移【別添：図1 参照】

労働災害による休業4日以上之死傷者数は、平成2年には3,038人であったが、その後減少傾向を示し、平成14年からは2,100人前後を推移し、平成21年からは1,800人以下となっていたが、平成24年以降は増加に転じ、平成26年は2,084人となった。

(2) 業種別発生状況【別添：表-1、表-2参照】

業種別では、**建設業531人**で最も多く、次いで製造業452人、商業271人、道路貨物運送業212人などとなっている。

平成25年と比較すると、**建設業で67人増加(+14.4%)**となった。

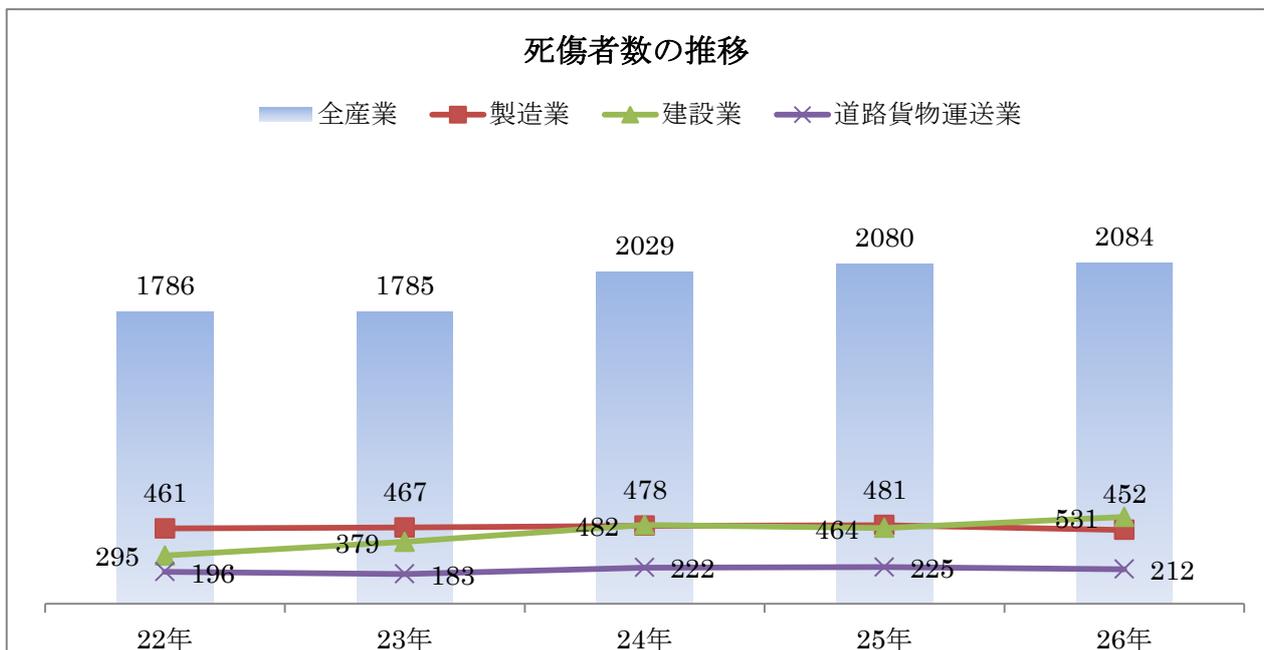
また、建設業においては東日本大震災に関する復旧・復興工事での死傷者が110人発生しており、建設業の20.7%を占めており、平成25年の118人より8人減少した。

工事別に見ると除染作業中の死傷者が80人(+14.3%)となっている。

復旧・復興工事での事故の型別では、「墜落・転落」が30人と死傷者の27.3%を占めている。

(3) 全産業事故の型別発生状況【別添：表3 参照】

全業種の発生状況を事故の型別でみると、「転倒」が500人(24.0%)と最も多く、次いで「墜落・転落」356人(17.1%)、「はさまれ・巻き込まれ」248人(11.9%)、「動作の反動・無理な動作」209人(10.0%)、「切れ・こすれ」168人(8.1%)、「交通事故(道路)」164人(7.9%)と従来型の災害が多く発生している。



2 労働災害による死亡災害発生状況

(1) 労働災害による死亡者数の推移【別添：図-1 参照】

労働災害による死亡者数は、平成7年には61人であったが長期的には減少傾向を示しており、平成21年の死亡者数は18人と過去最少になった。

その後、東日本大震災以降は増加に転じ、30人前後で推移し、平成26年は31人であった。

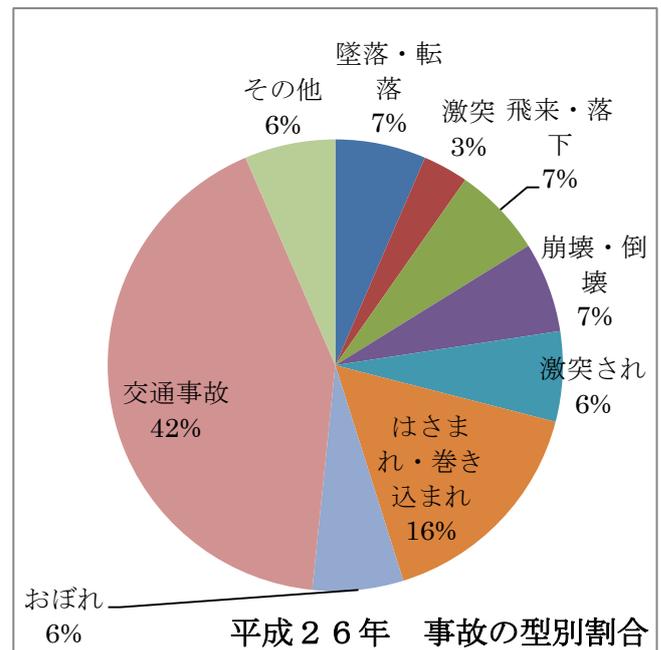
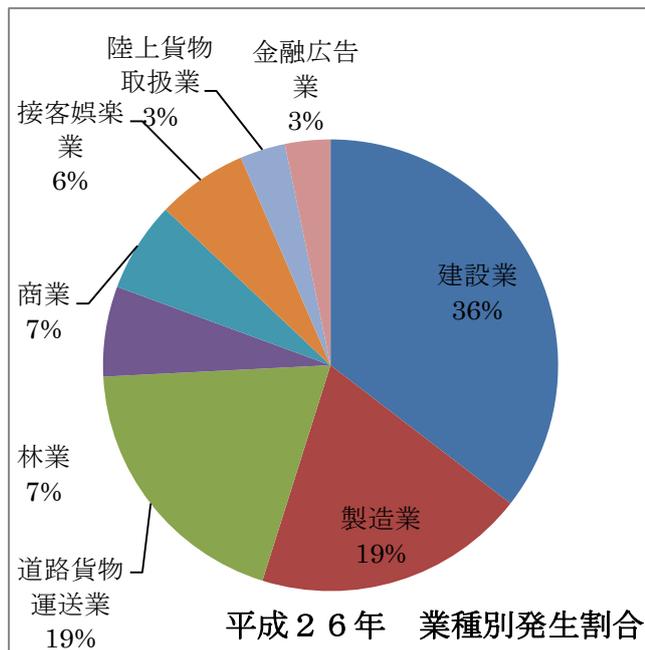
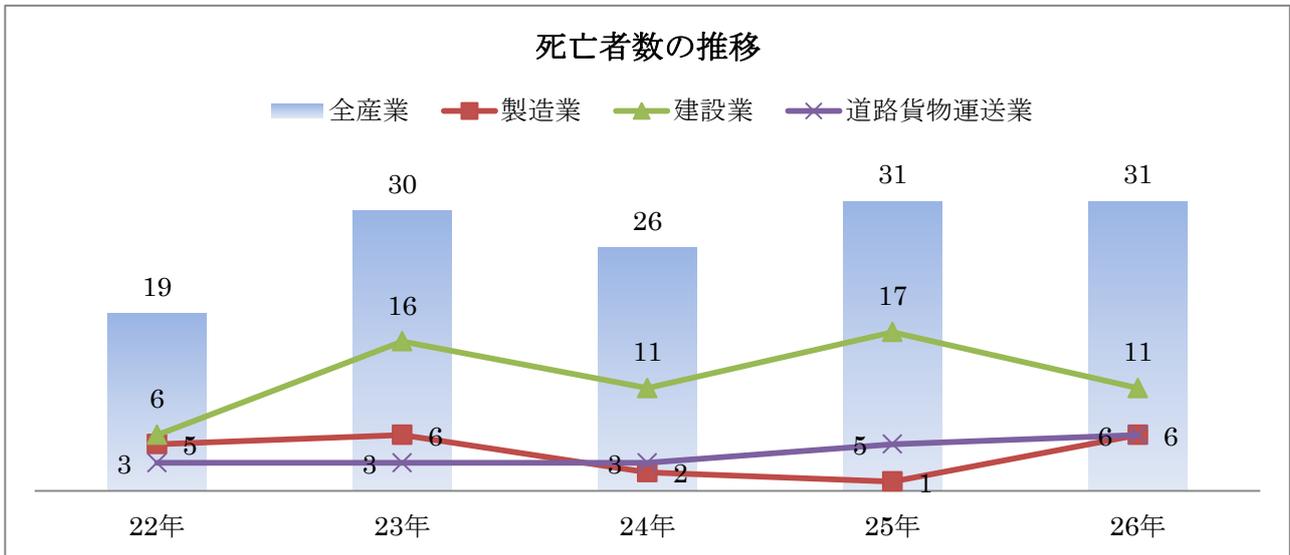
(2) 業種別発生状況【別添：表-1、表-2、表-4、表-5参照】

業種別では、建設業が11人と最も多く、次いで製造業6人、道路貨物運送業6人、農林業2人、商業2人、接客娯楽業2人、陸上貨物取扱業1人、金融広告業1人となっている。

平成25年と比較すると、製造業で5人増加し、建設業では6人減少した。建設業の死亡者数は震災前の平成22年には6人であり、その後は10人台で推移している。

(3) 事故の型別発生状況【別添：表-4参照】

事故の型別では、「交通事故(道路)」が13人と最も多く、次いで「はさまれ・巻き込まれ」5人、「墜落転落」「飛来・落下」「崩壊・倒壊」「激突され」「おぼれ」「その他」各2人、「激突」1名となっている。



3 重大災害（一度に労働者3名以上が被災する災害）の発生状況【別添：表－6 参照】

平成26年の重大災害は32件で前年と比較して19件（+146.2%）の増加であった。
事故の型別では、「交通事故（道路）」が22件（71.0%）であった。

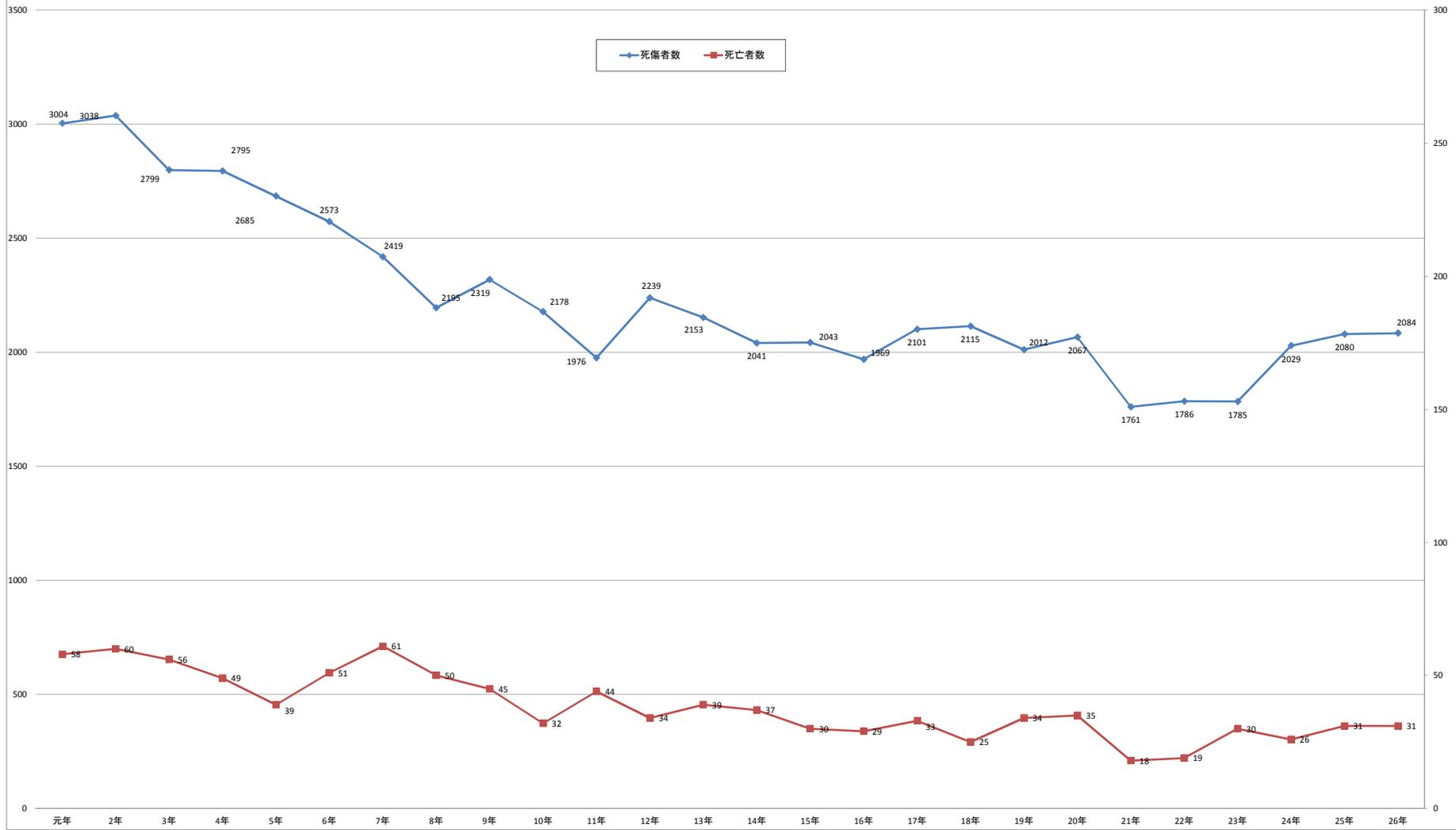
「交通事故（道路）」のうち20件は社用車等で工事現場への往復中に発生したものである。

【添付資料リスト】

- 1 図－1 福島県における労働災害発生の推移（平成元年～平成26年）
- 2 表－1 平成26年労働災害発生状況（平成26年1月1日～12月31日）
- 3 表－2 震災・復旧工事における労働災害発生状況（平成26年発生分）
- 4 表－3 平成26年全産業労働災害発生状況（事故の型別、起因物別）
- 5 表－4 平成26年死亡災害発生状況（署別、業種別、事故の型別、起因物別）
- 6 表－5 平成26年全産業死亡災害概要
- 7 表－6 平成26年労働災害発生状況対比表（署別）

福島県における労働災害発生の推移(平成元年～平成26年)

図-1



注1 死傷者数は、休業4日以上を示す。
 注2 平成11年までは、労災給付アーターによる件数、平成12年以降は、労働者死傷病報告による件数

平成26年 労働災害発生状況

表-1

(確定)

福島労働局

業種別	年別	平成26年		平成25年		対前年	
		死亡	死傷者	死亡	死傷者	増減数	増減率(%)
全業種合計		31	2084	31	2080	4	0.2
製造業小計		6	452	1	481	-29	-6.0
食品製造業		2	109		126	-17	-13.5
繊維工業・繊維製品製造業			9		10	-1	-10.0
木材、木製品製造業			39		35	4	11.4
家具、装備品製造業			8		7	1	14.3
パルプ、紙、紙加工品製造業			9		10	-1	-10.0
印刷製本業			7		8	-1	-12.5
化学工業			31		33	-2	-6.1
窯業土石製品製造業			32	1	39	-7	-17.9
鉄鋼業		1	9		6	3	50.0
非鉄金属製造業		2	10		17	-7	-41.2
金属製品製造業			67		60	7	11.7
一般機械器具製造業			26		32	-6	-18.8
電気機械器具製造業			31		35	-4	-11.4
輸送用機械器具製造業		1	33		29	4	13.8
電気、ガス、水道業			6		3	3	100.0
その他の製造業			26		31	-5	-16.1
鉱業小計			7	1	9	-2	-22.2
土石採取業			7	1	9	-2	-22.2
その他の鉱業						0	
建設業小計		11	531	17	464	67	14.4
土木工事業		7	157	9	120	37	30.8
建築工事業		3	262	4	234	28	12.0
その他の建設業		1	112	4	110	2	1.8
運輸交通業小計		6	245	5	260	-15	-5.8
鉄道・道路旅客運送業			31		34	-3	-8.8
道路貨物運送業		6	212	5	225	-13	-5.8
上記以外の運輸交通業			2		1	1	100.0
貨物取扱業小計		1	11		14	-3	-21.4
陸上貨物取扱業		1	11		14	-3	-21.4
港湾荷役業						0	
農林業		2	53	4	56	-3	-5.4
林業		2	32	3	34	-2	-5.9
畜産・水産業			20		11	9	81.8
上記以外の事業小計		5	765	3	785	-20	-2.5
商業		2	271	1	272	-1	-0.4
金融広告業		1	15		18	-3	-16.7
保健衛生業			150		132	18	13.6
接客娯楽業		2	126	1	155	-29	-18.7
清掃・と畜業			94		80	14	17.5
上記以外の事業			109	1	128	-19	-14.8

注1) 労働者死傷病報告(休業4日以上)による。

平成26年 震災 復旧・復興工事における災害発生状況(休業4日以上)の死傷災害発生件数)

確定

		福島	郡山	いわき	会津	白河	須賀川	喜多方	相馬	富岡	計
震災復旧工事関係	死亡者	1							2	1	4
	死傷者	43	12	7	0	8	3	0	13	24	110

○ 事故の型別発生状況

事故の型	死傷者数	うち除染等作業での死傷者数
墜落、転落	30	24
転倒	21	15
激突	7	5
飛来、落下	6	
崩壊、倒壊	3(1)	1
激突され	9	6
はさまれ、巻き込まれ	6(1)	4
切れ、こすれ	8	7
踏み抜き		
交通事故	1(1)	1(1)
動作の反動、無理な動作	15	14
その他	4(1)	3(1)
合計	110(4)	80(2)

()は死亡者数で内数

○ 業種別発生件数

業種	死傷者数
土木工事業	13(1)
建築工事業	6
その他の建設業	90(3)
その他の業種	1
合計	110(4)

()は死亡者数で内数

※除染工事はその他の建設業に分類

※死傷者数には工事のために移動中の交通事故による死傷者は含まない。

福島労働局労働基準部
健康安全課

全産業事故の型・起因物別労働災害発生状況(平成26年分(確定版))

福島労働局

起因物	原動機	動力伝導機構	木材加工用機械	建設用機械	金属加工用機械	一般動力機械	動力クレーン等	動力運搬機	乗物	圧力容器	化学設備	溶接装置	炉・窯等	電気設備	人力機械工具等	用具	その他の装置・設備	仮設物・構築物・建設物等	危険物・有害物等	材料	荷	環境等	その他の起因物	起因物なし	分類不能	計
事故型																										
墜落・転落			1	7		2	10	69	1						84	4	141		11	9	12	4	1			356
転倒			1	7	1	1	2	12	10					19	25	7	246		21	16	73	27	31	1		500
激突				2		1		21	5				1	5	16	4	18		5	3	6	1				88
飛来・落下			1	4	3	1	5	7	1					7	20	3	2		34	11	6					105
崩壊・倒壊								3	1				1	1	4	6	2	5	10	2	10					45
激突され				13	1	1	10	13	3					11	6	2	5		13	4	10	1	5	1		99
はさまれ、巻き込まれ		2	4	15	23	65	16	42	9			2		2	18	5	3	9	18	6	7	1	1			248
切れ・こすれ			45	1	11	25		1						45	4	1	1		24	1	3	5	1			168
踏み抜き																		3	4							7
おぼれ																		1			1					2
高温・低温の物との接触				1	1	1						2		1	1	8	8	2	3	2	2	17	4		1	54
有害物等との接触				1											1				7			1				10
感電														1												1
爆発														1					2							3
破裂										1																1
火災																		1	1							2
交通事故(道路)				1				40	121						1							1				164
交通事故(その他)									1																	1
動作の反動・無理な動作						4		8	5					11	7		32		12	28	4	9	83	6		209
その他								1										1				6	9	1	1	19
分類不能																							1		1	2
計	0	2	52	52	40	101	43	217	157	1	0	4	1	7	121	183	34	467	13	154	82	157	62	123	11	2,084

平成26年死亡災害発生状況

確定

(署別)

	平成26年			平成25年同期			増減
	総数	内交通事故	内建設業	総数	内交通事故	内建設業	
福島	5	5	3	5	1	3	0
郡山	7	2	1	9	1	4	-2
いわき	2		1	4	2	2	-2
会津	3		1	3		2	0
白河	2	1		4	2	2	-2
須賀川	4	2	1	3		2	1
喜多方	2	2					2
相馬	5	1	3				5
富岡	1		1	3		2	-2
局計	31	13	11	31	6	17	0

(業種別)

業種	平成26年	平成25年同期	増減
製造業	6	1	5
土石採取業		1	-1
建設業	11	17	-6
運輸交通業	6	5	1
道路貨物運送事業	6	5	1
陸上貨物取扱業	1		1
林業	2	3	-1
畜産・水産業			0
商業	2	1	1
金融広告業	1		1
保健衛生業			0
接客娯楽業	2	1	1
清掃業			0
その他の事業		2	-2
合計	31	31	0

(事故の型別)

事故の型	26年	25年	増減
墜落・転落	2	7	-5
転倒		1	-1
激突	1		1
飛来・落下	2	1	2
崩壊・倒壊	2	4	-2
激突され	2	6	-4
挟まれ・巻き込まれ	5	3	2
切れ・こすれ		1	-1
有害物との接触			
おぼれ	2		2
火災		1	-1
爆発・破裂			
交通事故	13	6	7
分類不能			
その他	2	1	1
合計	31	31	1

(起因物別)

起因物	26年	25年	増減
動力機械		1	0
建設機械等	2	2	0
金属加工用機械	1		1
一般動力機械	1	3	-2
動力クレーン等	1	2	-1
動力運搬機	9	8	1
乗物	7	3	4
その他の装置			0
用具			0
仮設物、建築物、構築物等	2	5	-3
物質、材料			
荷	1	1	0
環境等	7	5	2
分類不能			0
その他		1	-1
合計	31	31	0

(業種と事故の型別の関係:平成26年発生)

業種	事故の型														合計
	墜落・転落	転倒	激突	飛来・落下	崩壊・倒壊	激突され	挟まれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	有害物との接触	おぼれ	爆発・破裂	交通事故	分類不能	その他	
製造業			1				2			1		2			6
土石採取業															0
建設業	1			1	2		2			1		3		1	11
運輸交通業	1						1					4			6
道路貨物運送業	1						1					4			6
陸上貨物取扱業														1	1
林業							2								2
畜産・水産業															0
商業				1								1			2
金融広告業												1			1
保健衛生業															0
接客娯楽業												2			2
清掃業															0
その他の事業															0
合計	2	0	1	2	2	2	5	0	0	2	0	13	0	2	31

表－５

平成２６年 全産業死亡災害概要

福島労働局 (確定)

番号	発生日 管轄署 (発生場所)	業種 労働者数	被災者			事故の型 起因物	災害発生状況	備考 発注者
			性別	年齢	職種			
1	1月29日 郡山 (二本松市)	道路貨物運送業 13名	男	57	運転手	はさまれ、巻き込まれ 動力運搬機	クレーン付きトラックで荷物を配送中、トラック下部のシャフトにゴムバンドがからまったことに気づき、それを取り除くために車体の下に潜りこんだところ、シャフトに上着が巻き込まれた。(現認者なし)	
2	1月31日 須賀川 (宮城県)	道路貨物運送業 19名	男	62	運転手	交通事故 動力運搬機	大型トラックを運転中、異常な音がしたため、国道わきに停車して前輪と後輪の間から車体下部を覗き込んでいたところ、後方から来たトラックに追突され後部車輪に頭部を強打した。	
3	1月31日 喜多方 (会津若松市)	接客娯楽業 3名	女	26	従業員	交通事故 乗用車	飲食店に出勤するため、事業主の運転する軽乗用車に同乗して店舗に向かう途中、県道で凍結路面により軽乗用車がスリップし対向車線にはみ出し対向車と正面衝突した。(同乗者2名が死亡)	
4	1月31日 喜多方 (会津若松市)	接客娯楽業 3名	女	26	従業員	交通事故 乗用車	飲食店に出勤するため、事業主の運転する軽乗用車に同乗して店舗に向かう途中、県道で凍結路面により軽乗用車がスリップし対向車線にはみ出し対向車と正面衝突した。(同乗者2名が死亡)	
5	2月6日 いわき (いわき市)	非鉄金属製造業 55名	男	60	作業員	おぼれ 仮設物、建築物、構築物	ドラム缶に水を張り、エボナイト樹脂片を洗浄する作業において、ドラム缶の水が凍結していたためその氷片を付近の冷却池へ投棄していたところ、冷却池に転落した。(現認者なし)	

6	2月17日 郡山 (福島市)	道路貨物運送業 87名	男	40	運転手	交通事故 動力運搬機	大型トラックの助手席に乗り、東北自動車道上り車線を走行中、路肩に停車していた大型トラックに追突した。	
7	2月18日 相馬 (相馬市)	建築工事業 6名	男	63	作業員	崩壊、倒壊 環境等	夜間照明設備工事において、深さ約2mの掘削坑内で照明柱基礎コンクリートの型枠パイプ撤去作業中、付近の法面が土砂崩壊したため、ほかの作業員が土砂の撤去をしていたところ、同箇所の土砂がさらに崩壊し埋まってしまった。	地方公 (市)
8	2月28日 福島 (郡山市)	道路貨物運送業 20名	男	40	運転手	交通事故 動力運搬機	高速道路下り車線を走行中、前方を走行していた大型トラックに追突した。	
9	3月5日 会津 (南会津町)	土木工事業 31名	男	60	車両系建設機械運転手	はさまれ、巻き込まれ 建設機械等	ドラグ・ショベルを運転して砂利を敷く作業中、エンジンを止めずにドラグ・ショベルから降りようとしたとき、雨合羽が旋回レバーに引っかかり、ドラグ・ショベルごと旋回した後に、クローラーとキャビンの間に体を挟まれた。	地方公 (県)
10	3月28日 富岡 (双葉町)	その他の建設業 4名	男	55	作業員	崩壊、倒壊 環境等	貯蔵庫を支える地下の杭の補修工事において、掘削した建物基礎の下に入り、杭に付着した捨てコンクリートのハツリ作業中、捨てコンクリートと土砂が崩れ下敷きになった。	民間
11	3月31日 郡山 (白河市)	その他の商業 2名	男	61	作業員	飛来、落下 荷	移動式クレーン機能付きトラックの荷台に廃棄する制御盤等を積み込む作業中、何らかの原因で荷台から制御盤が落下し、制御盤の下敷きになった。	

12	4月11日 白河 (白河市)	自動車部品製造業 98名	男	54	作業員	挟まれ・巻き込まれ 一般動力機械	不具合で停止した機械の電源を切らずに機械の内部点検作業中、機械が急に動きだし機械のフレーム部分に頭部がはさまれた。(単独作業中)	
13	4月14日 いわき (いわき市)	土木工事業 2名	男	32	土工	飛来・落下 建設機械等	道路新設工事現場で盛土部の型枠組立作業中、近くで法面をバックホウで掘削していたところ、法面上部にあった切り株が落下し、転がり落ち激突した。	国
14	4月25日 郡山 (磐梯町)	食料品製造業 8名	男	52	作業員	激突 動力運搬機	工場内でリーチフォークリフトを運転し、製造した氷をベルトコンベアに乗せた後、バックした際にフォークリフトと壁の角部分に頭部と胸が挟まれた。(出張先で作業中)	
15	5月12日 福島 (二本松市)	食料品製造業 45名	男	72	配送員	交通事故 乗物	ワゴン車で走行中、カーブでセンターラインを越えて、対向車のタンクローリーと正面衝突した。	
16	5月21日 須賀川 (天栄村)	建築工事業 10名	男	64	作業員	墜落、転落 仮設物、建築物、構築物	倉庫新築工事において、脚立足場の上で、ベニア貼りの作業中、足場から墜落した。	民間
17	5月31日 会津 (会津若松市)	非鉄金属製造業 473名	男	34	製造工	挟まれ、巻き込まれ 金属加工用機械	機械で仕上圧延した銅版をリールで巻き取る作業をしていたところ、合紙を銅板に張付けるため機械を停止させず巻き取り部の下部に立ち入り、リールと銅版の間に上半身を巻き込まれた。	

18	6月21日 郡山 (郡山市)	土木工 事業 22名	男	59	作業員	おぼれ 環境等	河川内の護岸工事において 川が増水したため、使用した 排水管を河岸に移動させる作 業中、岩場で排水管にワイヤ ーロープを玉掛けしようとし たところ、足を滑らせ河川に 転落した。	地方公 (県)
19	6月29日 (9月12日 死亡) 相馬 (相馬市)	商業 22名	男	58	配達員	交通事故 乗物	原付バイクで朝刊配達中、 交差点を右折したところ、右 から来た直進車と衝突した。	
20	7月2日 会津 (南会津町)	林業 37名	男	59	作業員	激突され 環境等	伐倒作業の準備をしていた ところ枯木(高さ約5m)が 根ごと倒れてきて、その下敷 きになった。	
21	7月4日 福島 (国見町)	建築工 事業 45名	男	29	現場管 理人	交通事故 乗物	乗用車で工事現場に向かう 途中、高速道路上り車線で走 行車線の車を追い越した後ス リップし、橋の側壁に衝突し た。	民間
22	7月17日 相馬 (相馬市)	土木工 事業 20名	男	38	作業員	挟まれ、巻 き込まれ 動力クレ ーン等	消波ブロックの荷降ろし作 業において、トレーラーの荷 台から大型クレーンで消波ブ ロックを降ろす誘導作業をし ていたところ、消波ブロック とアウトリガーに挟まれた。	地方公 (県)
23	7月17日 (7月27日 死亡) 相馬 (南相馬市)	土木工 事業 200名	男	50	作業員	その他 環境等	一般住宅除染現場において 住宅敷地内の竹林の伐木作業 を行っていたところ、ハチに 刺された。	地方公 (市)
24	7月23日 福島 (福島市)	土木工 事業 5名	男	19	除染工	交通事故 乗物	ワゴン車で除染現場に向か う途中、前方の車を追い越そ うとして対向車線にはみ出し たところ、対向車線を走行し てきた乗用車と正面衝突し た。	地方公 (市)

25	7月25日 須賀川 (山形市)	鉄鋼業 20名	男	40	運転手	交通事故 動力運搬機	会社の製品配送のためトラックを運転し高速道路を走行中、トンネル入り口のコンクリート壁に激突した。	
26	7月30日 郡山 (郡山市)	銀行・信託業 35名	男	43	営業職	交通事故 動力運搬機	軽自動車で、顧客営業の途中、交差点でトラックと衝突した。	
27	8月4日 郡山 (郡山市)	陸上貨物取扱業 15名	男	45	清掃作業員	高温・低温物との接触 環境	事業場内のトイレで倒れていた。(熱中症)	
28	8月9日 福島 (福島市)	土木工事業 15名	女	66	除染作業員	交通事故 乗物	除染作業の現場事務所の敷地内で資材の整理をしていたところ、運転操作を誤った軽ワゴン車にはねられた。	地方公 (市)
29	9月1日 相馬 (埼玉県)	道路貨物運送業 13名	男	57	運転手	墜落、転落 動力運搬機	タンクローリーにバラセメントを積み込む作業中、タンクの上からバランスを崩して転落した。	
30	9月29日 白河 (いわき市)	道路貨物運送業 36名	男	38	運転手	交通事故 動力運搬機	大型トレーラーで走行中、積荷の建設資材が荷崩れを起こし、トレーラーのバランスが崩れたためカーブを曲がりきれずにガードレールに衝突、突き破り河川に車両ごと転落した。	
31	11月7日 須賀川 (石川町)	林業 5名	男	84	作業員	激突され 環境等	斜面上方にある庭木を切る作業に向かう途中、法肩にあった木材が落下し激突した。 (現認者なし)	

平成26年労働災害発生状況対比表

(確定)

福島労働局

		局		福島署		郡山署		いわき署		会津署		白河署		須賀川署		喜多方署		相馬署		富岡署		
		死亡	死傷数	死亡	死傷数	死亡	死傷数	死亡	死傷数	死亡	死傷数	死亡	死傷数	死亡	死傷数	死亡	死傷数	死亡	死傷数	死亡	死傷数	
全産業	25年	31	2080	5	437	9	449	4	441	3	241	4	183	3	120		56		94	3	59	
	26年	31	2084	5	461	7	424	2	407	3	241	2	194	4	127	2	50	5	124	1	56	
	増減率	0.0	0.2	0	5.5	-22.2	-5.6	-50.0	-7.7	0.0	0.0	-50.0	6.0	33.3	5.8	-10.7			31.9	-66.7	-5.1	
製造業	25年	1	481		88	1	100		115		41		58		37		16		23		3	
	26年	6	452	1	79	1	85	1	113	1	44	1	57	1	37		14		21		2	
	増減率	500.0	-6.0		-10.2	0.0	-15.0		-1.7		7.3		-1.7		0.0		-12.5		-8.7		-33.3	
	食料品製造業	25年	1	126		40		29		26		10		6		7		3		5		
		26年	2	109	1	25	1	21		24		11		8		9		3		8		
		増減率	100.0	-13.5		-37.5		-27.6		-7.7		10.0		33.3		28.6		0.0		60.0		
	木材・木製品製造業	25年		35		2		3		13		3		8		5				1		
		26年		39		3		2		14		3		12		3				2		
		増減率		-14.1		50.0		-62.5		7.7		0.0		50.0		-40.0				100.0		
	金属製品製造業	25年		60		8		16		14		1		8		3		3		7		
		26年		67		11		16		20		3		8		4		3		2		
		増減率		11.7		37.5		0.0		42.9		200.0		0.0		33.3		0.0		-71.4		
鉱業 (土石採取業を含む)	25年	1	9		1				2		1		2						1	1	2	
	26年		7						2		2		1						1		1	
	増減率	-100.0	-22.2		-100.0				0.0				-50.0						0.0			
建設業	25年	17	464	3	101	4	86	2	81	2	60	2	26	2	22		12		28	2	48	
	26年	11	531	3	142	1	68	1	86	1	59		39	1	25		15	3	51	1	46	
	増減率	-35.3	14.4	0.0	40.6	-75.0	-20.9	-50	6.2	-50	-1.7	-100.0	50.0	-50.0	13.6		25.0		82.1	-50.0	-4.2	
運輸業	25年	5	274	1	50	1	82	1	65		21	2	29		12		3		11		1	
	26年	7	256	1	55	3	74		54		19	1	20	1	19		3	1	10		2	
	増減率	40.0	-6.6	0.0	10.0	200.0	-9.8	-100.0	-16.9		-9.5	-50.0	-31.0		58.3		0.0		-9.1		100.0	
	道路貨物運送業	25年	5	225	1	39	1	70	1	54		13	2	26		10		3		10		
		26年	6	212	1	41	2	61		46		14	1	19	1	17		2	1	10		2
増減率	20.0	-5.8	0.0	5.1	100.0	-12.9	-100.0	-14.8		7.7	-50.0	-26.9		70.0		-33.3		0.0				
農林・畜産・水産業	25年	4	67		11	2	12		10	1	7		12	1	8		2		4		1	
	26年	2	73		9		14		6	1	15		15	1	7		2		4		1	
	増減率	-50.0	9.0		-18.2	-100.0	16.7		-40.0	0.0	114.3		25.0	0.0	-12.5		0.0		0.0		0.0	
	うち林業	25年	3	34		2	1	7		7	1	6		8	1	2		1		1		
		26年	2	32		5		3		1	1	12		8	1	1		1		1		
増減率	-33.3	-5.9		150.0		-57.1		-85.7	0.0	100.0		0.0	0.0	-50.0		0.0		0.0				
その他の事業	25年	3	785	1	186	1	169	1	168		111		56		41		23		27		4	
	26年	5	765		176	2	183		146		102		62		39	2	16	1	37		4	
	増減率	66.7	-2.5		-5.4		8.3	-100.0	-13.1		-8.1		10.7		-4.9		-30.4		37.0		0.0	
	卸売・小売業	25年	1	272		76	1	57		56		31		25		11		6		9		1
		26年	2	271		56	1	72		50		30		26		16		4	1	16		1
増減率	100.0	-0.4		-26.3	0.0	26.3		-10.7		-3.2		4.0		45.5		-33.3		77.8		0.0		

注1) 労働者死傷病報告(休業4日以上)による